

第96回南あわじ市議会定例会議事日程（第1号）

令和2年8月27日（木）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 行政報告
- 第5 委員会調査報告
- 第6 承認第5号 令和2年度南あわじ市一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認を求めることについて
- 第7 議案第56号 南あわじ市公民館条例の一部を改正する条例制定について
- 第8 議案第57号、議案第58号（2件一括上程）
 - 議案第57号 南あわじ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例制定について
 - 議案第58号 南あわじ市伊弉漁港海岸環境施設条例の一部を改正する条例制定について
- 第9 議案第54号 令和2年度南あわじ市一般会計補正予算（第7号）
- 第10 議案第55号 令和2年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 第11 議案第59号～議案61号（3件一括上程）
 - 議案第59号 放棄した権利の額の変更について
 - 議案第60号 放棄した権利の額の変更について
 - 議案第61号 友好連携協定の締結について

第12 議案第62号 財産の譲与について（旧灘保育所）

第13 認定第1号～認定第14号（14件一括上程）

認定第1号 令和元年度南あわじ市一般会計決算の認定について

認定第2号 令和元年度南あわじ市国民健康保険特別会計決算の認定について

認定第3号 令和元年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

認定第4号 令和元年度南あわじ市介護保険特別会計決算の認定について

認定第5号 令和元年度南あわじ市土地開発事業特別会計決算の認定について

認定第6号 令和元年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定について

認定第7号 令和元年度南あわじ市ケーブルテレビ事業特別会計決算の認定について

認定第8号 令和元年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計決算の認定について

認定第9号 令和元年度南あわじ市広田財産区特別会計決算の認定について

認定第10号 令和元年度南あわじ市福良財産区特別会計決算の認定について

認定第11号 令和元年度南あわじ市北阿万財産区特別会計決算の認定について

認定第12号 令和元年度南あわじ市沼島財産区特別会計決算の認定について

認定第13号 令和元年度南あわじ市下水道事業会計決算の認定について

認定第14号 令和元年度南あわじ市農業共済事業会計決算の認定について

第14 諮問第2号、諮問第3号（2件一括上程）

諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について

諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について

議 員 派 遣 報 告 書

令和2年8月27日 定例会

第95回臨時会より本日までの地方自治法第100条第13項及び会議規則第162条の規定による議員派遣について、次のとおり報告します。

1 淡路地域正副議長会定例会

- (1) 派遣場所 淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
- (2) 期 間 令和2年8月12日
- (3) 派遣議員 正副議長

議 長 報 告

令和2年8月27日 定例会

第95回臨時会を令和2年8月4日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

(令和2年度)

8月	12日	淡路広域団体議会議員協議会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	淡路地域正副議長会定例会（正副議長出席）	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	15日	戦没学徒追悼献花式（正副議長出席）	若人の広場公園
	18日	兵庫県町議会議員公務災害補償組合会計監査	兵庫県民会館
	19日	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会定例会	センタープラザ
	20日	議会運営委員会	委員会室
	21日	兵庫県町村会創立100周年記念シンポジウム（議長出席）	兵庫県公館
	24日	淡路広域団体議会定例会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	淡路政経懇話会8月例会（産業厚生常任委員長出席）	洲本巖島神社

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

令和2年8月27日

市 長	守 本 憲 弘
副 市 長	馬 部 総 一 郎
教 育 長	浅 井 伸 行
総務企画部長兼総務課長 兼総務課秘書室長	木 田 博 仁
総務企画部付部長 (企画担当) 兼佐 市長特別補	勝 見 哲
危機管理部部長 兼市長特別補	喜 田 憲 和
市民福祉部長	西 庄 登
産業建設部長 (総合調整担当)	和 田 昌 治
産業建設部付部長 (商工観光・教育連携担当) 兼市長特別補	川 上 洋 介
産業建設部付部長 (農林水産担当) 兼佐 市長特別補	岩 城 数 馬
教育委員会教育次長 (学ぶ楽しさ日本一推進調整担当)	仲 山 和 史
市民福祉部副部長 (福祉担当) 兼 長寿・保険課長	齋 藤 浩 二
市民福祉部副部長 (子育ての喜びが見える まちづくり推進調整担当) 兼子育てゆめるん課長兼児童館長	前 田 秀 美
教育委員会教育次長補 兼学校教育課長	大 住 武 義
会計管理者兼会計課長	河 井 達 雄

令和2年8月27日

南あわじ市議会
議長 熊田 司 様

総務文教常任委員会
委員長 久米 啓 右



委員会調査報告書

第88回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

2 調査の経過

令和元年11月21日、第88回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われ、以後、4回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている自治体の管外調査を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛した。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和2年1月24日、2月10日、4月22日、7月16日

3 調査の結果

(1) 市の総合的企画、調整について

地区公民館の土日開館については、市民からの要望が多いと思われる。職員が市民交流センターでの平日の窓口業務と公民館業務を兼任していることは理解しているが、公民館ということを考えれば、土日にも自由に利用できるのが通常だと考えるとの意見がありました。

移住・定住対策について、現在の空き家バンク利用登録者数は、139名で、そのうち65%の90人が島外在住者であり、平成28年度からの成約件数が31件ということであるので、更に力を入れて推進していただきたい。また、南あわじ市の様子がわからない島外の人も多いはずであるので、移住希望者に対し、お試して1カ月や3カ月など期間を決めて住んでもらうような移住体験制度も必要であると考え。今後、人口を減らさない対策として、ふるさとに帰ってきたいと思う気持

ちを育む教育も大事だと考えるので、空き家利用、地元との交流のほか、教育を含めすべての課が一つとなって取り組んでいただきたいとの意見がありました。

コミュニティバスの運賃について、現在、小学生で1回100円、中高生で1回200円の割引運賃となっているが、高齢者には認められている年間1日フリーパス券が学生には認められていない。学生も高齢者と同様に交通弱者であり、平成29年度の調査で20人の学生が定期でコミュニティバスを利用している実績もある。以前から、ニーズ調査を実施した上で検討するということがあったが、まだ実施に至っていない。早急に、学生をフリーパス券の対象とすることを検討していただきたいとの意見がありました。

(2) 市有財産の維持管理と財源の確保について

旧三原志知小学校施設の利活用について、校舎等は平成30年度に雨漏りやシロアリ被害の修繕が必要なほど老朽化しており、4月以降警備会社による無人管理となると、建物の劣化がすすむことが危惧される。校舎の1階が三原志知地区公民館で2階3階に教育関連施設を配置するという案を持っているということなので、早急に地域と話し合いを進め、再び地域住民活動等で、校舎や体育館が使用できるよう検討していただきたいとの意見がありました。

(3) 消防・防災対策について

避難所運営について、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されるなか、避難所の3密解消が切実な課題である。これから、豪雨や台風の時期が来るので、早急に対策を検討していただきたいとの意見がありました。

(4) 教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について

教職員の働き方改革について、昨年12月、改正教職員給与特別措置法が成立し、自治体の判断で、休日の「まとめ取り」ができる一年単位の変形労働時間制の適用が可能になった。市は、県や近隣市町の状況を見ながら、教職員の働き方改革について、検討していただきたいとの意見がありました。

小中学校の少人数学級編成について、全国知事会が国に要望もしているが、新型コロナウイルス感染症対策及び学習的効果の観点から、1クラス35人学級を実現するよう積極的に検討いただきたいとの意見がありました。

淡路人形座の経営状況について、淡路人形浄瑠璃館は指定管理者制度により淡路人形協会に運営を委託している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け客足が急激に減少している状況で、資金繰りが心配される。また、淡路人形協会の経営についても課題があるので、今後の人形座の運営形態については、根本的に見直す必要があるのではないかととの意見がありました。

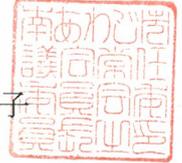
日本遺産について、周遊コースのパンフレットや小学校の社会科の副読本で紹介したり、観光部門では、日本遺産をテーマにしたゲームを作成したりと、淡路島内・市内含めて各部門連携して取り組んでいるようだが、まだ周知が行き届いていないように思われる。日本遺産の認定をチャンスととらえ、子どもから高齢者まで市民

に十分知ってもらい、市民から紹介してもらえるよう、更なる周知に努めていただきたいとの意見がありました。

令和2年8月27日

南あわじ市議会
議長 熊田 司 様

産業厚生常任委員会
委員長 吉田 良子



委員会調査報告書

第88回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

2 調査の経過

令和元年11月21日、第88回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、5回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている自治体への管外調査を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛した。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和2年1月23日、2月14日、4月20日、5月22日、7月22日

3 調査の結果

(1) 税の賦課徴収について

新型コロナウイルス感染症の影響により、納税が困難な方に対する猶予制度について、対象となる市民が制度を知らずに、徴収猶予を受けられないことのないよう、しっかりと周知を図っていただきたいとの意見がありました。

(2) 福祉対策について

保育所や幼稚園について、子どもが友人関係を築き、協調性などを育み、しっかりと成長していくためには、適正な人数で過ごす必要がある。西淡志知小学校と三原志知小学校が統合したように、志知保育所と志知幼稚園を統合することを検討していただきたいという意見がありました。

また、3歳未満の子どもについては、自分の住んでいる地域の保育所へ入所希望

を出しても、保育所の定員数に空きがないため、入所できないことがある。別の地域の保育所になると保護者が疎外感やさみしさを感じることもあるため、できるだけ希望する保育所に入所できるように配慮していただきたいという意見がありました。

少子対策について、さまざまな施策を講じているが、少子化に歯止めがかかっていない。出産祝金を思い切った金額に引き上げるなど、子どもを産みたいと思える施策を検討していただきたいとの意見がありました。

児童館は18才未満のすべての子どもが利用できる施設で子どもの第三の居場所、異年齢交流の場であるので、市民のニーズをつかみ、適切な場所に適切な数を設置していただきたいという意見がありました。

80代の親がひきこもりの50代の子どもの生活を支えるという8050問題の解決に向けて、気軽に相談できる窓口をPRし、困っている当人がお互いに話し合える場をつくることを検討していただきたいとの意見がありました。

(3) 医療体制と健康づくりの推進について

町ぐるみ健診について、実施場所が変更されると市民が戸惑ったり、行きにくくなったりするため、できるだけ実施場所を変更しないように配慮していただきたいという意見がありました。

新型コロナウイルス感染症対策について、医師などの専門家や県としっかり協議し、非常事態に陥らないように危機感を持って対応していただきたいとの意見がありました。

(4) 商工業及び観光の振興について

灘黒岩水仙郷について、駐車場までの道幅が狭く、車が渋滞するため、せっかく来た観光客が帰ってしまうことがあるため、解決策を検討していただきたい。また、ミカンジュースやびわゼリーなどのオリジナル商品をもっとPRをしていただきたいとの意見がありました。

指定管理施設について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい経営状況に陥っているため、今後の動向をみながら、指定管理者と十分協議し、対応していただきたいとの意見がありました。

安全・安心と消費喚起による社会経済基盤強化事業について、この事業に参加した事業者は、安全対策としてのマスクや消毒液の購入等に対し補助を受けたが、参加しなかった事業者や対象外の業種の事業者は、補助を受けていない。このような経済支援が行き届いていない隙間部分を埋めるような支援策を講じていただきたいとの意見がありました。

新型コロナウイルス感染症関連の経済支援策について、スピード感を持って、市の広報などを活用し、市民全員に漏れなく、分かりやすく知らせるようにしていただきたいとの意見がありました。

(5) 農業振興の推進について

有害鳥獣対策について、イノシシやシカ、サルなどが増えており、農作物の被害が後をたたないため、抜本的な対策を講じていただきたいという意見がありました。

また、八木馬回地区では、地域の人、吉備国際大学の学生が協力し、集落を守るために柵やバッファゾーンの整備を行い、地域の活力がうまく循環している。この地区をモデル地区として、市全体に推進していただきたいとの意見がありました。

さらに、農業においては、後継者不足であり、個々の農家だけではどうすることもできないため、職員が地域に出向き人・農地プランの推進をしていただきたいという意見がありました。

ため池について、耕作放棄田等も増えてきており、使われていない個人池が多く存在する。大雨などで水がたまり、堤防が決壊し、災害の引き金になる可能性があるため、個人池についても市で把握し、対処していただきたいとの意見がありました。

(6) 水産振興の推進について

水産業について、漁獲量の減少、魚価の低迷、及び後継者不足など、非常に厳しい状況にあるにもかかわらず、加えて新型コロナウイルス感染症の影響を受け、廃業する漁業者がでてくることも考えられる。この水産業崩壊の危機を救うための支援策を検討していただきたいとの意見がありました。

漁場の活性化について、かいぼりが効果的であるとのことだが、潮どめ樋門を閉めていては、栄養が海まで届かない。開けると悪臭が問題になるとのことだが、県や漁業者などと調整し、問題の解決方法を検討していただきたいとの意見がありました。

(7) 都市整備事業の推進について

サイクリングロードの整備について、県道の改修を含め海岸に沿ったサイクリングロードを整備し、地域の活性化をはかっていただきたいとの意見がありました。

(8) 下水道事業の推進について

下水道事業の見直しにより、下水道区域以外となった地域について、これまでは老朽化した水道管や道路は管渠と併せて整備するとなっていたため、整備が進んでいない。地域と協議しながら整備を進めていただきたいという意見がありました。

決算審査特別委員（案）

第 96 回 定 例 会

1	番	印	部	久	信
2	番	土	井		巧
3	番	太	田	康	文
4	番	原	口	育	大
5	番	長	船	吉	博
6	番	北	村	利	夫
7	番	蛭	子	智	彦
8	番	吉	田	良	子
9	番	北	条	志	津子
10	番	登	里	伸	一
11	番	廣	内	孝	次
12	番	木	場		徹
13	番	久	米	啓	右
14	番	谷	口	博	文
15	番	阿	部	計	一
17	番	小	島		一